

## シヨロイツクインツレ

### Xoloitzcuintle

F C I スタンダード No.234

#### ■原産国

メキシコ

#### ■用途:

スタンダード・サイズ: ウォッチ・ドッグ

インターミディエイト・サイズ: ウォッチ・ドッグ

ミニチュア・サイズ: コンパニオン・ドッグ

#### ■F C I 分類

グループ5 スピッツ&プリミティブ・タイプ

セクション6 プリミティブ・タイプ

#### ■序 文

無毛を生み出す遺伝子は優勢である。にもかかわらず、被毛のある仔犬が生まれることがある。ヘアレス同士の繁殖によって被毛のある仔犬の誕生数が最も少なくなるため、この交配が好まれてきた。この繁殖により、この犬種の質が維持及び向上することが証明されている。

遺伝的多様性を持たせるために、素晴らしいタイプ及び外貌をしており、スタンダードで容認されている毛色並びに被毛を伴う構成の良いコーテッド・シヨロイツクインツレを繁殖に使用することができる。

コーテッド・シヨロイツクインツレ同士の繁殖は許容されない。コーテッド・シヨロイツクインツレのブリーディング・ストックは、ヘアレス同士の繁殖からの少なくとも3代祖を有する登録された両親犬の子孫でなければならない。

コーテッド・バラエティーはドッグ・ショーにてヘアレス・ドッグのみと繁殖することができる真の犬種として評価されなければならない。

#### ■沿革

これらの犬の起源はるか昔に遡る。以前、原住民はこの大変貴重な肉を特別な儀式の際に食していた。ナワトル語で「Xoloitzcuintli」またはスペイン語でシヨロイツクインツレ (Xoloitzcuintle) は神「Xolotl(シヨロトル)」の使いとみなされおり、明らかに犬名はこの神の名に由来している。この犬種の務めは死んだ者の魂をその最終到達地まで導くことであった。そのため、この犬の頭数は絶滅近くに至るまで減少した。メキシコKCはこの原産犬種を保護し、1940年よりシヨロイツクインツレをメキシコKCのロゴに使用している。この犬種のヘアレス・バラエティーは「perro pelón mexicano (メキシカン・ヘアレス・ドッグ)」としても知られている。コーテッド・バラエティーは、現地では「izcuintle」として知られている。

#### ■一般外貌

古代からの自然なプリミティブ・ドッグであり、その一般外貌は進化によって作出された。大変魅力的でほっそりとした優雅な犬で、あらゆる面で適度であり、粗野に見えることなくスピード、調和、強さを表現している。また、すっきりとしたアウトラインのよく釣り合いのとれたボディをしており、胸は幅広で、肋はよく張っており、四肢及び尾は長い。この犬種にはヘアレス・バラエティーとコーテッド・バラエティーの2つのバラエティーがあるが、両バラエティーの外貌は被毛と歯列を除いては全く同じである。

ヘアレス・バラエティー：最も重要な特徴は、全く、或いはほぼ完全にボディに被毛がなく、スムーズで柔らかい皮膚をしている点である。固有の特徴として、先天性ヘアレス遺伝子に関連し、歯列はほぼ常に不完全である。

コーテッド・バラエティー：とても魅力的な犬で、完全に短い被毛が生えている。被毛は詰まっており、フラットで、アンダーコートが無く滑らかである。コーテッド・バラエティーもヘアレス・バラエティーと同様に調和がとれ、釣り合いのとれた外貌をしており、歯列は正常に発達し、正常な位置に生えている完全歯（42本）でなければならない。

### ■重要な比率

肩端から坐骨端の長さとき甲の先端から地面までの高さの比率は体長の方が僅かに長く、約 10 : 9 である。牝は出産するので、牡よりも僅かに長い場合もある。スカルとマズルはほぼ同じ長さである。

この犬種のサイズは3つあり、みな引き締まって頑健で、筋肉質で、胸郭は広々としており、適度な骨量、アウトラインは長方形である。肘から地面までの長さはき甲から肘までの長さと同じか、若干長い。

### ■習性／性格

ショロイツクインツレは静かで、落ち着いており、明るく、用心深く、利口である。他人に対しては疑い深く、ウォッチ・ドッグに相応しく、コンパニオンとしても優秀である。決して攻撃的なことはない。コーテッド・バラエティーもまたあらゆる面で同じである。

### ■頭部（ヘッド）

□頭蓋部（クラニアル・リージョン）

#### スカル

幅広く、力強さがあり、楔形をしている。上望すると幅広で、優雅である。マズルに向かって徐々に先細る。オクシパットはあまり目立たない。スカルとマズルはほぼ平行である。

#### ストップ

ほんの僅かだが、明瞭である。

□顔部（フェイシャル・リージョン）

#### 鼻（ノーズ）

暗色な体色の犬においては暗い色で、ブロンズの体色のものにおいてはブラウンもしくはピンクであり、斑のある犬においては斑のある鼻である。

#### マズル

側望すると、マズルは真っ直ぐで、上顎及び下顎はスクエアで力強い。舌は一般的にピンクだが、この犬種の共通の特徴であるブラックの斑または小斑がある場合もある。舌は常に口の中におさまっており、口の外に垂れ下がる麻痺した舌は失格である。

#### 唇（リップス）

ぴんと張っており、弛みはない。

#### 顎／歯（ジョーズ／ティース）

両バラエティー：頑丈な顎である。切歯は上の切歯が被さるシザーズバイトで、完全に密接している。上顎の切歯の内側は下顎の切歯の外側に触れており、顎はスクエアにしている。端から端までのレベル・バイトも許容される。

ヘアレス・バラエティー：完全にそろった切歯が望ましい。多くの犬の歯根は

それほど深くないので、数本の切歯、犬歯、後臼歯、前臼歯の欠歯もしくはねじれて生えている歯は欠点とされない。遺伝的に、被毛が無いことは欠歯と密接な関係がある。

コートド・バラエティー：シザーズ・バイトもしくはピンサー・バイトで、正常に発達した正常な位置に生えている完全な歯数（42本）が要求される。

#### 頬（チークス）

僅かに発達している。

#### ■目（アイズ）

中位の大きさで、用心深さと、知的な表情をしているアーモンド形である。色は皮膚の色により異なり、ブラック、ブラウン、ヘーゼル、アンバーもしくはイエローの色調である。ダークなものが好ましく、双方の目は同色でなければならない。暗い体色の犬においては、眼瞼の色はよく色素沈着したブラック、ブラウン或いはグレーである。

明るい体色の犬においては明るい色あるいはピンクの眼瞼が許容されるが、好ましい色とは言えない。

#### ■耳（イヤーズ）

両バラエティーとも耳は長く、大きく、印象的で、大変上品で、きめ細かい。「バット・イヤーズ」と類似した耳である。警戒時には真っ直ぐに立っており、軸の角度は水平線に対して50度から80度である。警戒時には両耳を同じ位置に保持しなければならない。垂れ耳または断耳されたものは失格である。

#### ■頸（ネック）

両バラエティーとも頸は高く掲げ、なめらかで、ドライである。上部のラインは僅かにアーチしている。比較的長い。ほっそりしており、柔軟で、筋肉が発達し、たいへん上品である。頸の皮膚は丈夫で、弾力があり、頸に密着して、デューラップはない。仔犬の頸には皺があるが、それは年齢を重ねる毎に消えていく。

#### ■ボディ

力強い体躯構成である。

#### トップライン

完璧に真っ直ぐで水平である。

#### 背（バック）

短く、力強く、頑丈である。

#### 腰（ロイン）

力強く、筋肉質である。

#### 尻（クループ）

側望すると僅かに凸状であり、水平線に対し40度くらいの角度に傾斜している。

#### 胸（チェスト）

側望すると長く、深く、肘まで達している。肋はよく張っているが、誇張されてはおらず、平らでもない。前望すると前胸は適度な幅があるが、胸骨の先端は突出していない。

#### アンダーライン及び腹部（ベリー）

優雅なラインである。腹部は筋肉質で、適度に巻き上がっている。

#### ■尾（テイル）

長く、細く、いくらかの被毛の房があり、ヘアレス・バラエティーにおいては尾は付け根から尾先にかけて先細りしており、コートド・バラエティーにおいては完

全に被毛で覆われている。動いている時には上方にカーブして掲げるが、決して背に触れることはない。静止時には垂れ下がっており、先端は僅かにフック状になっている。気温が低い時には尾を両脚の間に巻き込むこともある。尾は飛節近くまで達する。休止時には尾は尻の延長のようであればならない。

#### ■四 肢（リムズ）

##### □前 軀（フォアクォーターズ）

###### 肩（ショルダー）

平らで、筋肉質である。上腕骨と肩甲骨の良い角度により、長く、自由で、優雅なストライドが可能となる。

###### 肘（エルボー）

力強く、胸に接し、決して外向していない。

###### 前 腕（フォアアーム）

前望すると、前脚は真っ直ぐで、地面に対して垂直である。

###### 中足（メタカーパス）（パスターン）

頑丈で、ほぼ垂直である。

###### 前足（フォアフィート）

中位の長さである（ヘアー・フット）。指趾はアーチし、緊握し、ヘアレス・バラエティーにおいては短い粗毛が生えていることがあり、コートド・バラエティーにおいては被毛で覆われている。爪は暗い体色の犬では黒く、ブロンズやブロンドのものではより明るい。爪は整えるべきである。パッドは堅く、どのような地面に対しても耐久性がある。指間膜はよく発達している。デュークローは除去が法律で禁じられている国以外では全ての四肢から切除すべきである。

##### □後 軀（ハインドクォーターズ）

###### 一般外貌（ジェネラル・アピアランス）

力強く筋肉質であるべきである。後望すると後脚は完全に真っ直ぐで平行であり、決して近くてはならない。股関節の角度とスタイル（膝）と飛節の角度は、後脚に自由で力強い動きをさせるのに十分な角度である。

###### 大 腿（サイ）

良く筋肉が付いている。

###### 膝（スタイル）（ニー）

適度な角度である。

###### 飛 節（ホック・ジョイント）

カウ・ホックは大変望ましくない。

###### 後足（ハインド・フィート）

前足と同様である。

#### ■歩 様（ゲイト／ムーブメント）

長く、優雅で、軽快なステップで自由に動けるべきであり、トロットは速く、流れるようで、頭部と尾は高く掲げられている。後軀は自由に力強く動く。

#### ■皮 膚（スキン）

##### ヘアレス・バラエティー

被毛が全くないため、この犬種にとって皮膚は非常に重要である。スムーズでたいへん繊細な感触である。被毛がないために直接熱を放出するので、より温かく感じるが、体温は他の被毛の生えた犬種と同じである。熱が自然に空気に乗って失われてしまう被毛のある犬種とは異なり、日光や環境に対する自然な保護がないため、

皮膚は更に入念な手入れが必要となる。事故によりできた傷は欠点とはならない。足（パッド及び指間膜）から汗をかく傾向があるため、極端に気温が高い時を除きほとんどあえぐことがない。明瞭な皮膚のトラブルがあってはならない。

#### コーテッド・バラエティー

コーテッド・バラエティーの皮膚はスムーズで完全に被毛で覆われていなければならない。

### ■被毛（コート）

#### 毛（ヘアー）

ヘアレス・バラエティー：この犬種の特徴はボディに全く被毛がないことである（ヘアレスまたはヌード・ドッグ）。しかし、前頭部と頸に短く、粗く、密な毛が僅かに生えており、毛色はいかなる色でも良いが、この被毛は決して2.5cmよりも長くはならず、決して長く柔らかいトップノットを形成してはならない。粗毛は足と尾の先端にしばしば見られるが、なくても欠点とはならない。

コーテッド・バラエティー：このバラエティーはボディ全体に被毛が生えている。腹部及び後脚の内側の被毛は非常に少ないことが望ましい。被毛は短く、フラットで、アンダーコートがない滑らかな毛質が望ましい。

#### 毛色（カラー）

ヘアレス・バラエティー：単色で均一なダークな色の皮膚が望ましい。その幅はブラックから黒っぽいグレー、スレート・グレー、ダーク・グレー、レディッシュ、レバー、ブロンズ、ブロンドまでである。斑のあるものもおり、ホワイトを含むいかなる色のマーキングでも良い。

コーテッド・バラエティー：単色で均一なダークな色が望ましい。その幅はブラックから黒っぽいグレー、スレート・グレー、ダーク・グレー、レディッシュ、レバー、ブロンズ、ブロンドまでである。斑のあるものもおり、ホワイトを含むいかなる色のマーキングでも良い。

### ■サイズ

牝にも牝にも3つのサイズがある。

スタンダード・バラエティー：46cm ～ 60cm。犬質がトップクラスのものにおいては+2cmが許容される。

インターミディエイト・バラエティー：36cm ～ 45cm。

ミニチュア・バラエティー：25cm ～ 35cm。

### ■欠点

上記の点からのいかなる逸脱も欠点とみなされ、その欠点の重大さは逸脱の程度及び犬の健康並びに福利への影響に比例するものとする。

- ・頭部が非常に幅広いもの。
- ・成犬で皮膚に弛み、緩みもしくは皺があるもの。
- ・成犬で頸の皮膚に緩み、弛みもしくは皺があるもの。
- ・過度なデューラップのあるもの。
- ・目の色が明るいもの、丸い目のもの、出目なもの。
- ・脊柱前弯症や弓なりの背。
- ・尻が沈んだもの。
- ・過度なカウ・ホック。
- ・背上にきつく巻いた尾。
- ・尾の短いもの。

- ・扁平足。

#### ■重大欠点

- ・ボディが細長く、脚の短いもの。

#### ■失 格

- ・攻撃的もしくは過度のシャイ。
- ・肉体的または行動的に明らかに異常なもの。
- ・典型的でないもの。
- ・目が見えないもの、あるいは耳が聞こえないもの。
- ・アンダーショットもしくはオーバーショットのもの。
- ・ずれた顎（重度のライ・マウス）。
- ・上下顎のポジショニングが悪いため、咬合が弱いもの。
- ・麻痺した舌（舌が口から出ているもの）。
- ・ブルーの目もしくは異なる色の目（異色症）。
- ・断耳の施されているもの或いは垂れ耳のもの。
- ・断尾の施されているもの或いは短尾。
- ・ヘアレス・バラエティーにおいて、頭部、耳、顎、足及び尾の僅かな被毛以外にボディに被毛が生えているもの。
- ・コートド・バラエティーにおいて、短毛または滑らかな被毛以外の毛が生えているもの。
- ・アルビノのもの。
- ・マール・カラーのもの、及びスタンダードに記載されている毛色以外のもの。即ち、ブラック・アンド・タン、ブリンドル、ホワイト、セーブル等。
- ・体高が 62cm を越えているもの、25cm を下回るもの。

注：・牡犬は明らかに正常な2つの睪丸が陰囊内に完全に下降していること。

- ・機能的かつ臨床的に健全であり、犬種のタイプを有しているもののみが繁殖に使用されるべきである。